

三鷹市
バリアフリー
映画上映会



やってみたく
いっぱいある。

重江良樹 監督作品
『さとにきたらええやん』

ゆめノパ のじかん

子どもたちの遊び場「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。
遊んで、転んで、立ち止まって…誰もが安心して自分らしく過ご
せる居場所で育まれる、子どもたちのかけがえのない“じかん”
を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。

入場無料
各回
先着90名

字幕・手話通訳者

上映には、日本語字幕が付きます。また、アフタートークには手話通訳者が付きます。

ごろごろスペース

ずっと座っているのが苦手な方へごろごろスペースを用意しています。

車いすで鑑賞

車いすのまま、好きな場所で映画をご覧いただけます。申し込みの際にお知らせください。

2026年2月14日（土）

元気創造プラザ（4F 生涯学習センター ホール）

★午前の部10:30~12:15（開場10:00）

★午後の部14:00~15:30（開場13:30）

●お申し込みはFAXまたはメールにて・詳しくは裏面をご覧ください。

●午前の部上映後に市内で児童を支援する皆さんによる「こどものいばしょ」アフタートークがあります。

主催 / 三鷹市（心のバリアフリー推進事業）
お問合せ / NPO法人三鷹はなの会 0422-44-2255（星と風のカフェ）

何をしてもいい。何もしなくてもいい。 きみは、きみのままでいい。



いまを生きるすべての子どもと、かつて子どもだった大人(おとな)に贈る、
生きる力を育む“じかん”



「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。くるくると踊る子。小さな子どもを連れた自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集まっています。ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休憩したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子も…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考えはじめ…。

家庭でもない、学校でもない、第3の子どもの居場所を公設民営で運営している先進的モデルとして、全国の自治体から注目を集めるゆめパの日々を3年にわたり撮影したのは、前作「さとにきたらええやん」の重江良樹監督。遊ぶこと、学ぶこと、休息すること、人と共ににあること。その輝きも揺らぎも、子どもたちのかけがいのない“じかん”はきっと大人たちにも大切なものを思い起こさせてくれることでしょう。子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。

お申込み：

FAXの場合 ▶ 0422-44-2255
必ずご連絡先をご記入ください。

メールの場合 ▶ hoshi-cafe@hanano-kai.jp

どちらの場合も件名を「ゆめパのじかん・参加申し込み」とし、本文に必ず①午前・午後の部どちらか②申込される方のお名前、年齢③同行される方の全てのお名前、年齢④参加希望人数の合計をご記入ください。
支援・介助が必要な方のご希望などお伝えください。

会場：

